



瀬戸内国際芸術祭 2025 開催に向けた円滑な受入環境の整備に関する 検討プロジェクトチームの設置について

四国運輸局では、瀬戸内国際芸術祭 2025 開催に向けて懸念される、海上交通の混雑緩和や積み残し、島内交通の確保等の課題に対し、関係者と連携しながら、ストレスフリーな受入環境を整備し、来訪者の利便性・満足度向上を図るため、「瀬戸内国際芸術祭 2025 開催に向けた円滑な受入環境の整備に関する検討プロジェクトチーム」を設置します。

1. 目的・概要

瀬戸内国際芸術祭は、会場の多くが離島であり、フェリーなどの海上交通の便数や島内の移動手段、更には宿泊や食事場所にも限りがあるため、ニーズに応じた受入環境を整えていく必要がある。2025 年開催の瀬戸内国際芸術祭では、12 年ぶりに規模を拡大し、新たな開催地の追加や大阪・関西万博からの来場者の流入による影響を踏まえ、海上交通や島内交通に関する対策の他、来訪者が集中する場所での混雑対策も求められているところである。

観光・交通政策等を所管する四国運輸局として、交通事業者や関係自治体等と連携し、四国運輸局が持つ情報の提供や国の支援策の紹介を行い、安全確保に配慮しつつ、特に来訪者の移動時における「積み残しゼロ」を目指し、「瀬戸内国際芸術祭 2025 開催に向けた円滑な受入環境の整備に関する検討 PT（以下、「PT」という。）」を設置する。

2. PT の活動内容

会期中における課題の解決に向けて、臨時航路・臨時バス路線の開設、既存航路・既存バス路線の増便等について、関係者と連携しつつ、「海上交通ワーキンググループ（以下、「WG」という。）」と「島内交通 WG」の2つの WG を設置の上、議論を行い、万全の対策を講じる。

3. PT の構成員

PT 長：四国運輸局次長（観光政策担当）

交通政策部長、観光部長、鉄道部長、自動車交通部長（陸上交通 WG リーダー）、
自動車技術安全部長、海事振興部長（海上交通 WG リーダー）、海上安全環境部長

（問合せ先）瀬戸内国際芸術祭 2025 開催に向けた円滑な受入環境の整備に関する検討 PT 事務局
担当：観光部観光企画課 横田・西岡 電話：087-802-6735

瀬戸内国際芸術祭2025開催に向けた円滑な受入環境の整備に関する検討プロジェクトチーム(PT)の概要



背景・問題意識

- 瀬戸内国際芸術祭2025に向けて懸念される、海上交通の混雑緩和や積み残し、島内交通の確保等の課題に対応し、ストレスフリーな受入環境整備及び来訪者の利便性・満足度向上を図る。
※英語版ナショナル・ジオグラフィック・トラベラー誌が発表した「2019年行くべき旅行先」にSETOUCHIが第1位、NYタイムズが発表した「2019年に行くべき52カ所」で「瀬戸内海の島々」が第7位に選出されるなど、外国人において瀬戸内の注目度が高まっている。

取組方針

- 観光・交通政策等を所管する四国運輸局として、「瀬戸内国際芸術祭2025開催に向けた円滑な受入環境の整備に関する検討プロジェクトチーム(PT)」を設置し、交通事業者や関係自治体等と連携しながら、特に安全確保に配慮しつつ、来訪者の移動時における「**積み残しゼロ**」を目指す。

検討プロジェクトチーム

【構成員】PT長：四国運輸局次長(観光政策担当)

交通政策部長、観光部長、鉄道部長、自動車交通部長、自動車技術安全部長、海事振興部長、海上安全環境部長

【活動内容】ワーキンググループ(WG)として、「海上交通WG」と「島内交通WG」の2つを設置し、各モードにおける課題の解決に向けた議論を行い、万全の対策を講じる。

海上交通WG

(議論するテーマ)

- ①会期中の臨時航路の開設、既存航路の増便
- ②臨時便の確保に向けた運航事業者との調整
- ③情報提供、法的助言や国の支援策の紹介

(構成員)

海事振興部長(リーダー)、交通政策部交通企画課長、観光部観光企画課長、海上安全環境部船舶安全環境課長

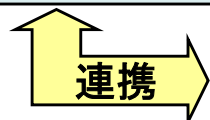
島内交通WG

(議論するテーマ)

- ①会期中の臨時バス路線の開設、既存バス路線の増便、ルート・ダイヤの見直し
- ②上記①に向けた運行事業者との調整
- ③情報提供、法的助言や国の支援策の紹介

(構成員)

自動車交通部長(リーダー)、交通政策部交通企画課長、観光部観光企画課長、鉄道部計画課長、自動車技術安全部整備・保安課長



瀬戸内国際芸術祭
実行委員会

関係自治体
(県・市町)

交通事業者・事業者団体
(フェリー、バス、タクシー)

